

高等部 研究

主題：「児童生徒の発達の段階や特性を踏まえた
段階的・系統的な指導のモデルの構築を目指す」

副題：「児童生徒の日常生活と関連付けられた国語、
算数・数学×自立活動の個別授業の実践」

2 研究経過

(1) 実態把握

①「ラーニングマップ」を使い、国語・算数の実態把握をし、各教科の単元や指導目標の設定を行った。

国語小1段階：2名
小2段階：6名
小3段階：5名
中1段階：9名
中2段階：9名

算数小1段階：2名
小2段階：6名
小3段階：7名
中1段階：7名
中2段階：9名

字級	氏名	国語段階	国語ステップ	数学段階	数学ステップ
1	A	中2		中2	
1	B	中1		中1	
1	C	中2		中2	
1	D	小2	ステップ3	小2	ステップ3
1	E	小2	ステップ1	小2	ステップ1
1	F	中2		中2	
1	G	中1		中1	
1	H	小1	ステップ3	小1	ステップ3
1	I	小3	ステップ3	小3	ステップ3
1	J	小2	ステップ3	小2	ステップ3
2	K	小2	ステップ3	小2	ステップ3
2	L	中2		中2	
2	M	中1		中1	
2	N	小2	ステップ3	小2	ステップ3
2	O	中1		中1	
2	P	中2		中2	
2	Q	中2		中2	
2	R	中2		中2	
2	S	小3	ステップ3	小3	ステップ3
3	T	中2		中1	
3	U	中1		小3	
3	V	中1		中2	
3	W	中2		中2	
3	X	小3		小3	
3	Y	中1		中1	
3	Z	中2		中2	
3	AA	小3		小3	
3	BB	小3	ステップ1	小3	ステップ2
3	OO	中1		小3	ステップ3
3	DD	小2	ステップ1	小2	ステップ1
2	EE	小1	ステップ2	小1	ステップ2

② 「ICT活用能力実態シート」を活用し、児童のICT活用能力についての実態把握を行った。

・全ての児童が A 知識及び技能 B 思考・判断・表現
C 学びに向かう力・人間性等においては、幅があり導入からステップ4の段階にあった。

③ 日常生活の様子を観察し、課題点をまとめた。
(事例対象児童)

(2) 授業計画・授業実践・実践報告

- ① 実態把握と学習指導要領を基に授業計画を立てる。
- ② 基本の教材・教具とiPadを併せて用いた授業を実践し、教師一人一事例をiPad実践報告書、研究の事例報告様式にまとめ、学部研究会で報告した。
- ③ 事例対象（15例）

H、EE：国語小1・1段階	J、K：国語小2・2段階
I、S：国語小3・3段階	BB：算数小3・3段階
B、M、V、CC：国語中1・1段階	C、P、W、Z：国語中2・2段階

(3) 研究討議・授業改善

- ① 各回1事例、グループ研究でブレインストーミング法を用い、討議の柱に基づいて研究討議を行った。
- ② グループ研究で出された意見や課題点を基に授業改善を行った。

3 研究の実際

(4) 事例P (国語 中2段階)

実態把握②

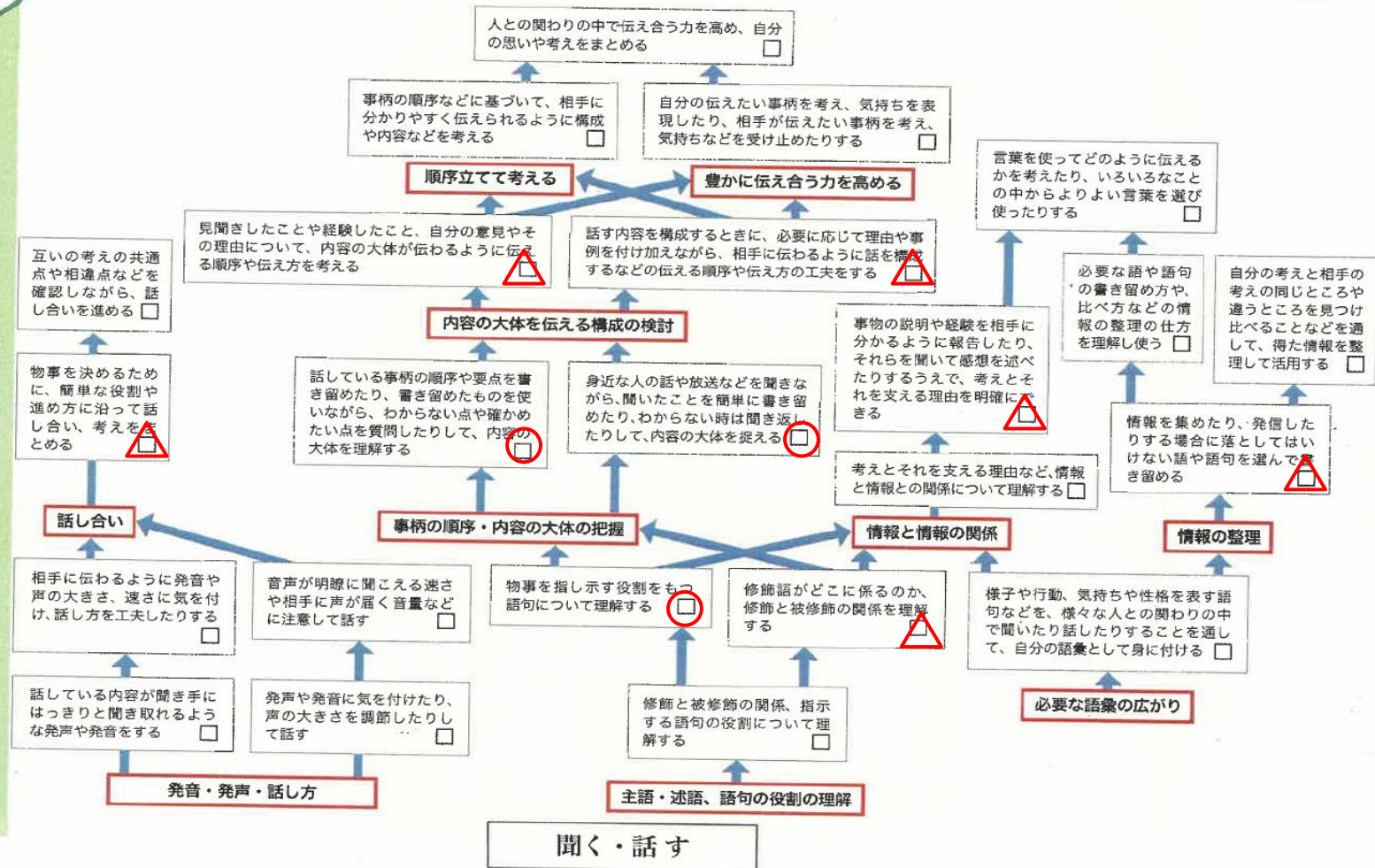
「ラーニング・マップ」

ツール編

中2
国語

特別支援学校(知的障害) 国語科 中学部 2段階(聞くこと・話すこと)

対話の経験を
積み重ねる
言葉を用いて
伝えたいことを
明確にして
伝える



実態把握③

「日常生活における課題」

- ・ 言葉の意味を正しく理解しておらず、使い方を間違えている場面がある。
- ・ 会話が弾む実態であるが、物の名前や言葉を知らないことも多い。
- ・ 順序立てたり具体的に説明したりすることが難しい。

授業実践

【教科名】 国語

【単元名】 1 分間スピーチ

【学習指導要領上の段階】 中学部 2 段階

知	伝えたいことが明確になるよう話したいことを整理し、順序立てて伝えることができる。
思	見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について伝え方を考えることができる。
学	学習したことを日常生活の中で活用しようとしている。

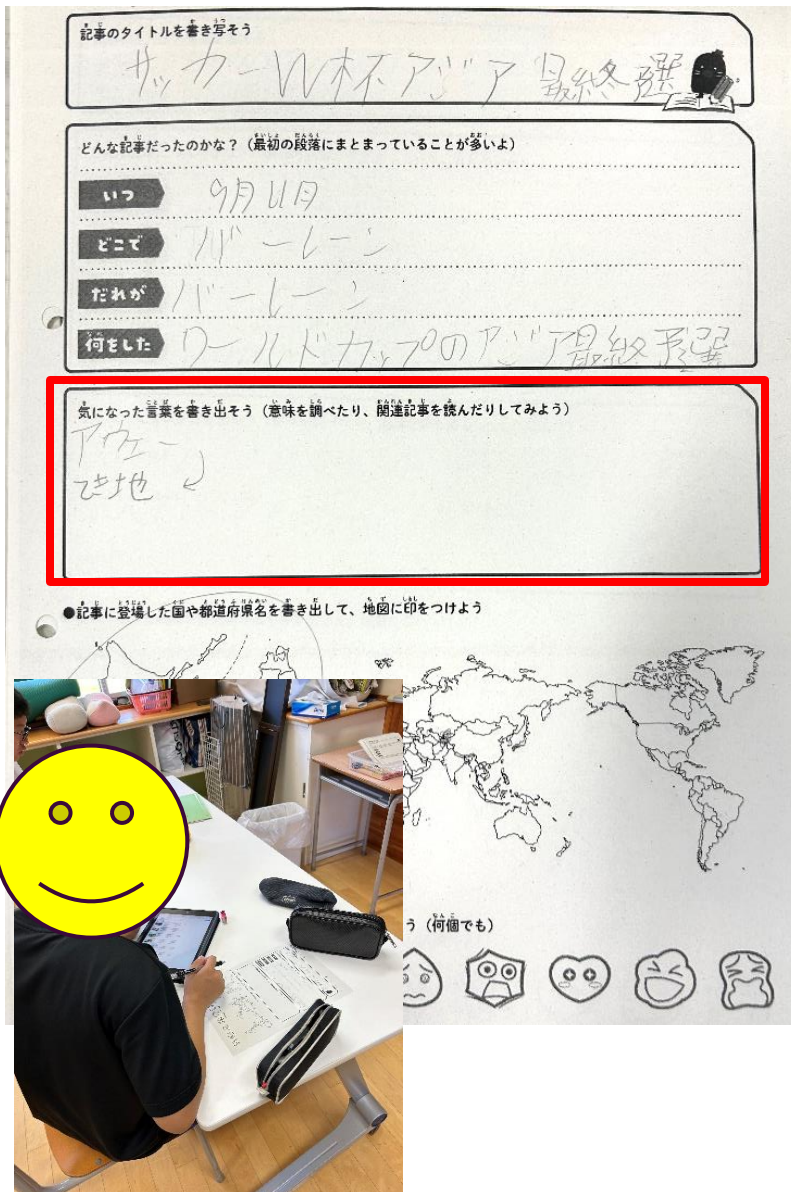
【本時の内容】

- ・ ニュースを調べよう

【本時の目標】

知	分からない言葉の意味を調べ、ニュースの内容を正しく捉えることができる。
思	言葉の意味を知り、まとめたことを自分の言葉で伝えることができる。
学	言葉の意味や使い方を知り、活用しようとしている。

学習の様子



* 学習の様子

- ① iPadで気になるニュースを調べる。
- ② 記事の中から、気になった言葉や分からない言葉をプリントに書き出す。
- ③ iPadで言葉の意味を調べプリントに書く。
- ④ 自分が調べたニュースを伝える。
 - ・ アプリだけでなく、自主的にグーグルなどでも調べる様子が見られた。
 - ・ iPadの操作に慣れてきており、スムーズに学習できた。

* 教材、手立てについて

- ・ 記事の内容を整理できるよう、項目立てであるシンプルなプリントを活用した。
- ・ ほとんどの生徒が携帯電話を持っているため、新聞ではなくiPadを活用したことで、意欲的に取り組むことができた。
- ・ 調べた言葉がどのような意味だったのか、自分の言葉で説明する時間をとることで理解できているかを確認することができた。

基本の教材・教具

新聞読んだよシート 年 月 日 ()

記事のタイトルを書きなさい

サッカーW杯アジア最終予選

どんな記事だったのかな？(最初の段落にまとまっていることが多い)

いつ 9月11日

どこで バーレーン


だれが バーレーン

何をした: ワールドカップの予選最終予選


気に入った言葉を書き出そう (意味を調べたり、関連記事を読んだりしてみよう)

サッカー
ど土地

●記事に登場した国や都道府県名を書き出して、地図に印をつけよう



●この記事を読んだ気持ちにぴったりのマークに色をぬろう (何個でも)



iPadアプリ



考察

①良かった点

- ・調べた言葉をプリントに書くことで、記録を見返すことができた。
- ・調べたことをプリントの項目に沿って書き出すことで、記事の内容を整理して発表することができた。
- ・発表を通して友達から質問を受けることで、相手に伝わるように話せているか、自分達で振り返ることができた。

②改善点

- ・一分間スピーチにつなげるために、伝えたいことをまとめて発表する時間をもう少し確保していきたい。
- ・日常生活で使う言葉を検索できるよう、ある程度の誘導が必要。
- ・意味調べの単元と、一分間スピーチの単元を分けた授業展開にした方がよかった。

③討議の柱（聞いてみたいこと）

- ・順序だてた説明や、具体的な説明ができるようになるための学習方法。

<ブレインストーミング法によるブロックでの考察>

<討議の柱> 順序だてた説明や具体的な説明ができるようになるための学習方法

「教材の工夫」

- ・ 絵や写真を並び替えて、状況を説明する
- ・ 友達の発表と自分の発表を比較して違いに気付かせる
- ・ たくさんの人とコミュニケーションをとって語彙を理解する
- ・ 物語や小説、小学生新聞を読む
- ・ 日記や4コマ漫画をつくり正しい順序や組み合わせを考える など

ipad

- ・ 具体的に表現する練習
- ・ 説明をする時の型を用意する（テンプレ）
- ・ 起承転結を知る
- ・ 見本となる説明の仕方を知る、見る・1分間スピーチのテーマを提案、決めて話すこと
- ・ 説明のモデル・序論・本論・結論、結論を伝える／教える

「指導方法」

- ・ 文を作った後必ず見直す
- ・ 短い文の並び替え練習をする
- ・ 5W1Hを意識させる文章を書く経験を積む
- ・ 事象を項目だてて整理すること
- ・ 説明する内容を1つ2つからはじめ徐々に増して進める（ステップアップ）

語彙

- ・ 書き言葉と、話し言葉の違いを知る
- ・ 意味を調べた言葉を使って、文をつくってみる
- ・ 語彙の理解
- ・ 身の回りの物等の名前、使い方の確認
- ・ 会話の中で気になる単語をあげ、意味を質問する

実態把握

- ・ 語彙をふやす
- ・ 同時処理なのか、継次処理なのか

<<納得解・最適解>>

- ・ 「さしえ」「絵」の状況説明・日記（教材の工夫）・言葉を理解する（語彙）
- ・ 順序を表す、キーワードを用いる（指導方法）・文を区切って短く伝える（指導方法）
- ・ 5W1Hを意識する（指導最適解）
- ・ 説明するときの形を用意する（テンプレート）（ipad）

3 成果と課題

- ・ P君は、話すことができるため実態が高いと感じていたが、語彙の理解や説明が苦手なことがわかった。
- ・ ブレーンストーミング法を行ったことで、生徒の実態を再確認し、共有することができた。
- ・ 語彙を増やしていくことで具体的な説明ができるので、語彙を増やした学習に取り組む
- ・ ipadを使って、わからない語彙を調べたり、説明する時の型を用意して活用する
- ・ 自分の考えや話した内容を文章で表し、視覚的に見て振り返られるようにする。（視覚的支援）
- ・ 指導方法として、5W1Hを日常生活で意識させる。

<ブレインストーミング法によるブロックでの考察>

<討議の柱> 順序だてた説明や具体的な説明ができるようになるための学習方法

「教材の工夫」

・いろいろな説明書を読む・お話、絵カード（ストーリーがあるもの）を並び替え説明していく・4コマ漫画を作り、面白さを説明させる・似たようなテーマでの例文を提示し、生徒が書いた文章と比較する・物語や小説等文だけで構成されている文を読む・言葉で文章を理解するため、文章問題をたくさん解く・小学生新聞を読む・日記を書く・事実と考え（感想）の違いを理解させ、説明する時はまず事実を言わせる・カード調整法（カードに情報を項目ごとにまとめて順序や組み合わせを考える・報告や確認をさせる・写真を並び替えて説明する学習を繰り返し行う・伝えるために必要な言い回しを学習する・元気等毎日同じ内容で説明できるようにし、慣れてきたら新しい内容に変更する・「さしえ」の状況を説明する練習をする・絵を提示しその際についての説明を試みる・1分間スピーチをする・教師による手本・自分の考えていることやしゃべっている内容を視覚的に見て振り返ることで自分で間違いに気付かせる・語彙を増やしていくことで具体的な説明ができると思うので語彙を増やし学習に取り組む・気持ちを言語化する・誰でもわかる易しい言葉を選んで文をつくる・たくさんの人達とコミュニケーションをとる・絵を提示しその絵についての説明をし他の生徒と比較する・簡単な作業等させてそれを一文ずつ区切って説明することを繰り返す・人前でたくさん話す・いろいろな年齢の人と話す

「指導方法」

・文を作った後必ず見直す・短い文の並び替え練習をする・項目に沿って文章を書く経験を積む・5W1Hを意識させる・事象を項目だてて整理すること・順序だててすることを意識するため簡単な料理手順を試してみる・～だったので、～だから、～して、そうしたら、～したから、～でと長々と言わせない・「まず」「つぎに」「最後に」のキーワードをいれて伝える経験を積む・日常生活の説明で、まず、次に、それから、最後になどの順序を表す言葉を使わせるようにする・「なぜ」「なぜ」で掘っていき文章を構成する・1文説明した後教師がその1文を復唱し、確認していく・説明する内容を1つ2つからはじめ徐々に増して進める（ステップアップ）・生徒が話す時1、2、3、と区切りをつける言葉を補う・文と文を区切らせる

ipad

・どう頑張るのか等学校生活の中で具体的に表現する練習
・説明をする時の型を用意する（テンプレ）・起承転結を知る・見本となる説明の仕方を知る、見る・1分間スピーチのテーマを提案、決めて話すこと・説明のモデル・序論・本論・結論、結論から伝える／教える・パワーポイントを作成し、発表の場を設ける

<<納得解・最適解>>

- ・言葉を理解する（語彙）
- ・順序を表す、キーワードを用いる（指導方法）
- ・文を区切って短く伝える（指導方法）
- ・5W1Hを意識する（指導方法最適解）
- ・「さしえ」「絵」の状況説明・日記（教材の工夫）
- ・説明するときの形を用意する（テンプレート）（ipad）

語彙

- ・書き言葉と、話し言葉の違いを知る
- ・意味を調べた言葉を使って、文をつくらせてみる
- ・語彙の理解
- ・身の回りの物等の名前、使い方の確認
- ・会話の中で気になる単語をあげ、意味を質問する

実態把握

- ・語彙をふやす
- ・同時処理なのか、継次処理なのか